

観光立国の実現は、地方(地域)から

官民挙げて観光産業の高度化を

新年号・特別鼎談——観光立国の課題と展望

新しい年どのような年になるのか。現状を踏まえないから観光業界の展望について、観光庁の井手憲文長官、日本政府観光局(JNTO)の松山良一理事長、日本観光振興協会の見並陽理事長の3氏に語ってもらった。(司会 編集長・内井高弘)

——2012年の観光の状況を振り返ってほしい。まず、どうも元氣に。

見並 震災からの復興が進み、観光で地域を元気にしようというムードもあって国内旅行の需要は全体的に回復基調で推移した。復興関連のイベントも各地でにぎわい、スカイツリーが開業した東京、

訪日客は回復基調に 松山

中国市場の拡大必至 井手

依然厳しい東北観光 見並



日本観光振興協会理事長 見並 陽一氏

観光庁長官 井手 憲文氏

日本政府観光局理事長 松山 良一氏

しかし東北の観光需要は、需要を除く、観光を目的に訪日客が落ち込んでいる。会津地方、次に外国人が訪れる。東北の回復はそうい段階に

訪日客の中身を見ると、確かに団体客は大きく減少しているが、個人客、ビジネス客はそれほど大きな影響を受けていない。この点には注目すべきだろう。

——インバウンドは。松山 訪日外国人旅行者数は震災前の水準まで近づいてきた。目的別で言えば、東北地方はまだまだこれから。日本への渡航規制を出していた国に対しては緩和を働きかけ、福島県の一部を除けば改善が進んだ。東北に対しては中国人旅行者に数回観光ビザ(査証)の発給も始まった。

井手 国の制度や指導監督の問題点についてはしっかりと検証を行う。観光庁の取り組みを抜本的に変えようとする必要はある。制度設計は同時に産業も意識を変えるべきだ。「安全の責任は輸送機関や航空会社の責任ではない」と言える時代はなくなると。法的な責任をどう負うのかという問題は別として、旅行業は、公共的なサービスを提供している他の産業と同じく、高い意識を求められている。経営者から担当者まで安全について再認識してもらう必要がある。

見並 事故が相次ぐと、旅行業への不信感につながり、高齢化の問題に加え、景気といった経済的要因、部分的には旅行離れといった要因もあって、中長期的に大きく増やすのは難しいが、LCC(格安航空会社)のような輸送機関が登場して新たな需要を掘り起こした。こうした純増の部分に注目していき

見並 観光は地域に雇用と所得を生むものだ。値下げ競争によって消耗し、そのしわ寄せが地域に及ぶようなら、何のために観光を振興するのか分からない。労働集約型の産業なのだから、雇用の創出が重要だ。観光は発地と着地が相互に作用する。都市の人が地方に出かけ、それによって地方に雇用と所得が生まれれば、今度は地方が発地になって都市に出かける。国内観光振興の重要性は変わらな

井手 国の制度や指導監督の問題点についてはしっかりと検証を行う。観光庁の取り組みを抜本的に変えようとする必要はある。制度設計は同時に産業も意識を変えるべきだ。「安全の責任は輸送機関や航空会社の責任ではない」と言える時代はなくなると。法的な責任をどう負うのかという問題は別として、旅行業は、公共的なサービスを提供している他の産業と同じく、高い意識を求められている。経営者から担当者まで安全について再認識してもらう必要がある。

見並 事故が相次ぐと、旅行業への不信感につながり、高齢化の問題に加え、景気といった経済的要因、部分的には旅行離れといった要因もあって、中長期的に大きく増やすのは難しいが、LCC(格安航空会社)のような輸送機関が登場して新たな需要を掘り起こした。こうした純増の部分に注目していき

インは量と質を追求 松山

施策にPDCA徹底 井手

クティネーションであるかどうかは、受け入れ態勢、旅行商品の質にかかっている。今すぐ中国から怒涛の如く旅行者が来たとしても、受け入れ態勢は十分とは言えない。中国に関しては、今は腰だめの時期と考えて準備を進めるしかない。

——韓国との間にも竹島の問題があった。井手 訪日旅行に竹島問題の影響はないと見ている。もともと放射能の風評被害やオゾンなど震災以降の回復が鈍く、客数が低迷していた。韓国は新興市場のように右肩

上りの一調子という状況ではなく、観光のトレンドによって長かったり、悪かったり。日本の観光交流は、お互いに成熟した市場だから、まったく心配していない。

松山 リスクはあっても中国の維持、拡大への努力が問われる。韓国も隣人であり、交

流していかねばならぬ。観光は平和産業なのだから、こういう時こそ観光交流、かかわる安全が問題とな

——12年には高速ツアーバーの事故、中国でのツアー登問題にはこれまでも取り組んできたが、多様な商品・サービスが出回るようになり、コストが難しくなってきた。

見並 中長期で大きく伸びないが、着地型旅行などの質の高い旅行を主流にし、消費者の満足度が高まり、その

対価としてふさわしい収益を上げることができれば、入込客数は増えなかったとしても、地域経済を潤し、内需を下げることができると。松山 同感だ。国内観光インバウンドを問わず、新しい観光立国推進基本計画には、二つの大きな方向性がある。一つが観光のすそ野の拡大。そしてもう一つが観光の質の向上だ。すそ野を広げて量を増やすことは大事だが、質を向上させて満足度、収益を上げることも重要だ。旅行者を満足させてリピーターにしたい。

見並 観光は地域に雇用と所得を生むものだ。値下げ競争によって消耗し、そのしわ寄せが地域に及ぶようなら、何のために観光を振興するのか分からない。労働集約型の産業なのだから、雇用の創出が重要だ。観光は発地と着地が相互に作用する。都市の人が地方に出かけ、それによって地方に雇用と所得が生まれれば、今度は地方が発地になって都市に出かける。国内観光振興の重要性は変わらな

(4面に続く)

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

新しい年が皆様にとって佳き年でありますようお祈り申し上げます。

近畿日本ツーリスト株式会社は、本年1月クラブツーリズム株式会社との経営統合により持株会社体制に移行し「KNT-CTホールディングス株式会社」に商号変更致しました。

各々が培った力を結集し、新生・近畿日本ツーリストがスタートします。ご期待ください。

KNT-CTホールディングス株式会社グループ
近畿日本ツーリスト

観光立国の実現は、地方(地域)から

官民挙げて観光産業の高度化を

(3面から続く)

観光庁では若者の旅行振興に取り組み始めたが、

重要ではないか。リーダーを中心とする観光振興の...

観光庁の13年の歴史は、認定制度を導入したことで...

観光庁の13年の歴史は、認定制度を導入したことで...

観光庁の13年の歴史は、認定制度を導入したことで...

観光庁の13年の歴史は、認定制度を導入したことで...

観光庁の13年の歴史は、認定制度を導入したことで...

海外拠点など体制強化必要 宿泊・旅行業のレベル向上

見並

見並 観光産業を強くする...

見並 観光産業を強くする...

見並 観光産業を強くする...

旅館・ホテルに期待

見並

見並 観光産業を強くする...

見並 観光産業を強くする...

見並 観光産業を強くする...



観光立国実現への課題などを語り合ってもらった(東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで)

観光立国実現への課題などを語り合ってもらった...

観光立国実現への課題などを語り合ってもらった...

観光立国実現への課題などを語り合ってもらった...

観光立国実現への課題などを語り合ってもらった...

観光立国実現への課題などを語り合ってもらった...

観光立国実現への課題などを語り合ってもらった...

観光立国実現への課題などを語り合ってもらった...

観光立国実現への課題などを語り合ってもらった...

観光立国実現への課題などを語り合ってもらった...

迎春 赤い風船 日本旅行 NIPPON TRAVEL AGENCY 2013年(平成25年)4.19(金)~5.12(日) ひろしま菓子博

世界にとどけ! 笑顔をもむぶお菓子のちから ひろしま菓子博 2013 第26回 全国菓子大博覧会・広島 第2期もおトク! 前売り入場券販売中!!